

# 病害虫発生予察情報

## 7月月報

平成 30 年 8 月 20 日  
東京都病害虫防除所

### 1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2018年 7月	気 温 (°C)						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		平 年 比		平 年 比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	31.0	2.9	22.8	2.6	26.7	3.0	52	90	73.4	194
中旬	34.3	4.7	25.1	3.5	29.1	4.0	32	69	87.7	220
下旬	33.4	2.3	24.5	1.8	28.3	2.1	74	126	69.6	111
平均	32.9	3.3	24.2	2.7	28.0	3.0				
合計							158	97	230.7	162

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1981～2010年の平均値）からの差（比）

#### <天候概況>（千代田区北の丸公園）

- ◎ 気 温：上・中旬はかなり高く、下旬は高かった。
- ◎ 降 水 量：上旬は平年並で、中旬は少なく、下旬は多かった。
- ◎ 日照時間：上旬は多く、中旬はかなり多く、下旬は平均並だった。

上旬：晴れて気温の高い日が多かったが、期間の中頃からは台風第7号から変わった低気圧と前線の影響で雨や曇りの日があった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温のかなり高い日が続いた。

関東甲信地方では、7月中旬の平均気温の平年偏差が+4.1℃となり、1961年からの統計開始以降最高となった。

下旬：この期間は、前半は高気圧に覆われたため、晴れて気温の高い日が続いた。特に、23日には日最高気温が青梅市で40.8℃と観測史上東京都内で初めて40℃を超えた。後半は上空の寒気や台風第12号の影響で、曇りや雨の日が多くなった。

### 2 作物生育概況

#### (1) イネ

生育は順調であった。

#### (2) 野菜類

果菜類：露地のキュウリは高温のため収穫終了が早まり、それぞれ高温・乾燥の影響が見られ、トマトでは日焼け果、キュウリでは曲がり・先細り、ナスではつやなし果などが散見された。スイートコーンは乾燥による果粒のしなびが見られた。

葉根菜類：コマツナは高温の影響か芯の部分のみが枯れるものが見られた。ショウガは乾燥

のため成長が止まっているものが多かった。ニンジンには7月28日の降雨後に播種が行われる圃場が多かった。

イモ類 : サトイモは下葉の枯れが見られ、草丈は例年より低い状況であった。

### (3) 果樹

農総研の果樹圃場（灰色低地土）におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水：天候の影響で、肥大にムラが出ている。

### (4) 茶樹

例年より梅雨明けがはやくその後も少雨だったため、1茶摘採後の新梢の伸びが例年より少なくばらついた。

## 3 病害虫の発生概況

### (1) イネの病害虫

いもち病（平野部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
いもち病（山間部）	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

### (2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	フェロモントラップの誘殺数は少なかった。予察灯の誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯の誘殺数は多かった。

### (3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

### (4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。

白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ナス		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
 (5) 花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通の病害虫		
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
 (6) 植木の病害虫		
街路樹など		
チャドクガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
 (7) 島しょの病害虫		
三宅島：野菜類全般でアブラムシ類、トマトでトマトサビダニの発生が多かった。		
小笠原：父島のオクラでフタテンミドリヒメヨコバイの発生がやや多かった。		
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。		

## 4 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月13日	8月9日	0	0
大田市場	7月13日	8月9日	0	0
板橋市場	7月13日	8月9日	0	0
淀橋市場	7月13日	8月9日	0	0
北足立青果市場	7月13日	8月9日	0	0
青梅青果市場	7月5日	8月13日	0	0
八王子北野市場	7月6日	8月13日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月3日	8月13日	0	0
国立市場	7月6日	8月10日	0	0
東久留米市場	7月5日	8月10日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、八王子北野市場及び青梅青果市場で、それぞれ1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

## 病害虫防除所ホームページ

<http://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.jp/nourin/shoku/enzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、防除のポイントなどをお知らせしています。